

第55号 平成30年6月発行

# けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。  
「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する  
情報をお知らせします～



いよいよ県北地方では、さくらんぼや桃をはじめ、初夏の果物の収穫時期になりました。観光果樹園では摘み取り体験ができる場所もありますよ！



真っ赤に実った福島市のさくらんぼ「佐藤錦」



平成30年6月10日（日）に行われた第69回全国植樹祭を特集します！

## 第69回全国植樹祭 本会場編！

福島県では昭和45年以来48年ぶりの全国植樹祭が天皇皇后両陛下ご臨席のもと、東日本大震災による大津波の被災地である南相馬市原町区雫地内で開催されました。

当日は雨が降ったり止んだりの天気の中、約4,700人の招待者が、4.6haの海岸防災林にクロマツやコナラ等14,500本を植樹しました。今後、植樹会場は海岸防災林（保安林）として管理されていきます。

また、式典会場では、両陛下によるお手植え・お手播き、代表者による記念植樹の後、オール福島の若者が演じる創作アトラクションや伝統芸能等が披露され、フィナーレは大会テーマソング「福ある島」の大合唱を行い、東日本大震災からの復興と再生に向けて県民が力強く進んでいく姿を表現するとともに、参加者全員で森林の再生と次世代への継承を誓い合いました。

（森林林業部）



海が見える会場での植樹活動

(手前の柵は砂の移動防止と植栽木の育成環境を守る静砂垣と呼ばれるものです。)



桑折町立半田醸芳小学校 緑の少年団による植樹



将来イメージ



入口のウェルカムボード

## 第 69 回全国植樹祭 サテライト会場編！

大玉村のふくしま県民の森にはサテライト会場が設けられ、多彩な催しが繰り広げられました。

まずは記念植樹。当日はあいにくの雨の中でしたが、1,200名近くの来場者があり、350名を超える緑の少年団や一般の方が参加して、2,000本の少花粉スギの苗を記念植樹していただきました。

また、おもてなし広場では「ふるまい鍋」や「ヤマツツジ苗木」のプレゼントが好評で、行列ができるほど盛況でした。その他、木製イスづくりや薪割り体験も子供たちに大人気でした。

ステージでは地元・大玉村の小学生の「田植え踊り」や「十二神楽」をはじめ、「世界一」の口笛演奏、吉本芸人によるお笑いショーが式典会場の中継が始まるまでサテライト会場を沸かせてくれました。

今回、サテライト会場のイベントで皆さんに植樹していただいた苗木は、これから何十年もかけて立派な森林に育っていきますので、今後もふくしま県民の森に来て、その成長を見守ってください。そして雨の中、苦勞して苗木を植えたことを思い出して下さい。

県民の森はいつでも皆さんのお越しをお待ちしています！！

(森林林業部)



泥んこになりながら、苗木を植樹



子供たちに好評だった体験コーナー



「ペンぎんナッツ」のステージに子供たちがクギ付け



バルーンシェルターで雨宿り  
(大変お役に立ちました)

### 第 69 回全国植樹祭 PR 会場編！

福島駅東口駅前広場には、PR会場が設けられました。

午前中は飯坂八幡神社祭り太鼓保存会による飯坂太鼓の演奏や、福島市在住のシンガーソングライターMANAMI さんによるミニライブ等、様々なステージイベントが行われました。午後からは大型ビジョンカーで南相馬市の式典会場の様子が生中継され、小雨が降る中、傘をさしながら沢山の方にご覧いただきました。

あいにくの雨でしたが、800名近い方が来場し、2回に分けて行ったヤマツツジの苗配布では、毎回長蛇の列となるなど、南相馬市の式典会場にも負けないほどの盛り上がりを見せていました。

(企画部)



ヤマツツジの苗を配布しました



雨の中、沢山の方にお越しいただきました

## 第 69 回全国植樹祭 番外編！

Q 1. 全国植樹祭で招待者に配られたお土産って、何が入っていたの？

A 1. 写真にあるキビタンバックに、国旗の小旗、簡易座布団（紺色。折りたたみ式）、軍手、大会プログラム、持ち込み用荷物袋（ビニール製）、雨合羽、南相馬市のパンフットが入っていました。

また、入場に必要なリストバンド（オレンジ色）、IDカード（写真ではケースのみ）が受付で配られました。

Q 2. 会場で配布された「おもてなし弁当」って？

A 2. 福島県産食材や特産品をふんだんに使用し、“福島県らしさ”を表現したお弁当です。左から右の順で、

1 段目：にしんの山椒漬け、若桃の甘露煮と桃のコンポート、ほっき飯

2 段目：福島牛とアスパラロール、凍み豆腐等の煮物、メヒカリの南蛮漬け

3 段目：天のつぶ、いかにんじん、しいたけのふくさ焼きが入っていましたよ！！

（森林林業部）



お土産



おもてなし弁当



## ふくしま未来農業協同組合の3部会がJGAP団体認証を取得しました！

平成30年5月16日（水）、伊達市の「JAふくしま未来みらいホールラブル」において、ふくしま未来農業協同組合（以下「JAふくしま未来」という。）主催による「JAふくしま未来JGAP団体認証取得報告会」が開催されました。

昨年5月の県と福島県農業協同組合中央会（通称「JA福島中央会」）による「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を受け、JAふくしま未来では7月に生産者説明会を開催して以降、もも、なし、果樹、きゅうり、野菜、水稲の各GAP部会を組織し、農林事務所と連携してJGAP認証の取得に向けて取り組み、本年4月及び5月に「ももGAP部会」（25名）、「なしGAP部会」（6名）、「果樹GAP部会」（14名）の3部会が認証を取得しました。果樹品目での団体認証や県北地方・相馬地方と広域の団体認証は県内初であり、また、25名の人数での団体認証は県内最多となります。

報告会では、JAふくしま未来代表理事組合長の挨拶、当事務所長及びJA福島五連会長の来賓祝辞の後、JAふくしま未来より認証取得までの取組の報告があり、認証書が披露されました。

今後は、「きゅうりGAP部会」、「野菜GAP部会」、「水稲GAP部会」の3部会の団体認証に向けた審査が7月頃に予定されており、また、団体認証取得済の3部会に新たに参加する生産者の募集が行われる予定となっています。

（農業振興普及部）



ももGAP部会、なしGAP部会、果樹GAP部会の各JGAP認証書



JGAP団体認証を取得したももGAP部会、なしGAP部会、果樹GAP部会の皆様

## ふくしま未来農業協同組合伊達地区本部主催の農業塾が今年も開講しました！

平成30年5月23日（水）、ふくしま未来農業協同組合伊達地区本部が主催する農業塾の開講式及び第1回目の講義が行われました。

農業塾は、当地域の基幹品目である「もも」と「きゅうり」の2コースを設けて、経験年数の少ない農業者に基本的な栽培知識と技能を習得してもらうことを目的に平成19年度から開講されており、今年度で12年目を迎えます。

今年度は、若手就農者、定年帰農者、女性農業者などが「もも」コースで11

名、「きゅうり」コースで15名受講しています。各コースとも全6回の構成で、栽培技術の講義や現地実習及び農業税務に関する研修等を行います。

開講式では、同組合萩原伊達地区担当常務理事及び当事務所伊達農業普及所依田所長が激励の挨拶を行いました。

その後、各コースに分かれ、伊達農業普及所職員などが講師となって、品目の特性や栽培管理の基礎について講義を行いました。質疑応答ではキュウリの栽培管理やモモの樹体の生理・生態に関する事など、数多くの質問が出され、受講生たちの熱心さが伺える有意義な時間となりました。

当事務所では引き続き、地域農業の担い手育成を関係機関と共に進めてまいります。

(伊達農業普及所)



開講式の様子



「キュウリ」コースの第1回目講義の様子

## 県北地方新たなふくしまの未来を拓く園芸振興推進会議を 開催しました！

平成30年5月29日(火)、福島県二本松合同庁舎において「県北地方新たなふくしまの未来を拓く園芸振興推進会議」を開催しました。

この会議は、平成25年から8年間を推進期間として展開している園芸振興計画の後期4年の活動を市町村や関係機関団体とともに検討するために毎年開催しています。今回は、県北地方の地域振興品目である、きゅうり、トマト、アスパラガス、いちご、もも、日本なし、ぶどう、かき、小ぎくの園芸産地復興計画の進捗状況と新たに策定した福島地方のいちごの園芸産地復興計画を検討しました。

これらの計画は、「生産体制(人・ものづくり)の強化」「安全・安心の確保と販売対策強化」「新たな生産システム・技術の導入」の3つの視点で取組を展開していますが、新たな担い手を確保するための取組を中心に検討がなされました。

その後、二本松市内において新たな生産技術として事業で導入した、露地きゅうりの日射制御型拍動自動灌水装置による長期安定生産技術の現地視察を行い、新技術導入により生産性が向上した事例を確認しました。

(農業振興普及部)



各品目の進捗状況を検討



新技術の現地視察

## 平成30年度県北地方有害鳥獣被害防止対策会議を開催しました！

平成30年6月13日（水）、ふくしま未来農業協同組合野田支店において、当事務所主催により「平成30年度県北地方有害鳥獣被害防止対策会議」を開催し、構成員等23名が出席しました。

会議では、当事務所管内8市町村の有害鳥獣による農作物被害状況や「福島県有害鳥獣農作物等被害防止対策基本方針」（平成30年4月策定）、平成30年度活動計画について出席者間で情報・認識を共有しました。

また、管内8市町村から平成30年度の被害対策の取組状況として、電気柵等の侵入防止柵の設置や、実施隊及び猟友会等による捕獲促進、捕獲隊員確保のための広報誌の利用等の情報提供がなされ、併せて、課題や対応方針について意見交換を行いました。

有害鳥獣による農作物被害は震災以降増加傾向にあることから、当事務所としても、被害対策の3本柱である「生息環境管理、被害防除、有害捕獲」を総合的に取り組めるよう、関係機関・団体と連携しながら進めてまいります。

なお、今年度はツキノワグマの目撃件数が例年より多いことから、森林等に行く場合は十分に注意しましょう。

（農業振興普及部）



県北地方有害鳥獣被害防止対策会議



## 県北地方農薬適正使用推進会議を開催しました！

平成30年6月13日（水）、ふくしま未来農業協同組合野田支店において、当事務所主催により「平成30年度県北地方農薬適正使用推進会議」を開催し、構成員他25名が出席しました。

会議では、農薬使用基準の遵守、周辺環境への配慮、短期暴露評価の導入等について意識の統一を図るとともに、無人航空機の空中散布等実施計画書の提出を始めとする蜜蜂被害軽減対策にかかる連絡体制について再確認しました。

農薬の安全かつ適正な使用及び保管管理の徹底等を推進するため、毎年6月10日から9月10日まで県を挙げて農薬危害防止運動を実施しています。

農薬を使用する際にはラベルをよく読み、登録内容を確認の上、最終有効年月（期限）内に使用してください。また、使用予定場所の近隣の住民や施設、養蜂業者等に事前に散布等計画を知らせ、農薬による危害防止に努めてください。

（農業振興普及部）



県北地方農薬適正使用推進会議



平成30年度農薬危害防止運動ポスター

## 企業的経営をするための研修会を開催しました！

平成30年6月14日（木）、二本松合同庁舎会議室において、当事務所主催による「企業的経営をするための研修会」が開催され、農業者、関係機関担当者32名が出席しました。

「企業的経営の実践に向けて～ドラッガーの5つの質問より～」と題し、中小企業診断士の菅野覚<sup>すがのさとし</sup>氏（普及指導協力委員）に講演いただきました。菅野氏からは企業とは顧客（＝喜ぶ人）の創造（＝増やすこと）であり、そのためには自分たちの使命、展望、価値といった経営理念をしっかりと考えた上で、経営計画を策定・管理することが大切であるとのお話がありました。講演の前段では、柔軟な考え方をするには思い込みからの脱却が必要であるという演習もあり、参加者は実際に体験することで理解が深まった様子でした。



当事務所では、引き続き経営発展や法人化に向けた支援を行っていきます。

(安達農業普及所)



挨拶する遠藤安達農業普及所長



菅野氏の講演

### 「伊達な畑カフェ～いちご狩り～」が開催されました！

平成30年6月23日（土）、伊達地方の青年農業後継者クラブ「DATEC（ダテック）」主催による消費者交流イベント「伊達な畑カフェ～いちご狩り～」が、DATEC会員の齋藤寛泰<sup>さいとうひろやす</sup>氏のハウス（伊達市霊山町）で開催されました。

DATECは、伊達地方の20～40代の若い農業者を中心に構成され、次世代を担う農業者としての資質向上及び消費者等との交流を目的に、平成8年から活動している組織です。

「伊達な畑カフェ」は、消費者に「農業体験」や「農家の一服」のコーナーを通して農家生活を身近に感じてもらい、農業者と消費者との交流を深めることを目的に、毎年会員のほ場で開催しています。今回は5回目でしたが、参加人数は114名で過去最多となりました。

開会式では、ほ場主がいちごの収穫の仕方を説明し、参加者全員で集合写真を撮りました。その後、参加者は7棟のハウスに分散し、いちご狩りを行いました。参加者は採れたてのいちごに「甘くておいしい」と感動した様子で、持ち帰り分も満足いくまで収穫していました。また、「農家の一服」では、かき氷や飲み物を提供しながら、参加者との交流を図りました。

DATEC会員からは「参加者に満足してもらえて良かった」「100名を超えるイベントをやり遂げ、これからの自信につながった」などの意見が聞かれ、有意義な1日となりました。

当事務所では、今後も次世代を担う農業者育成のためにDATECの活動を支援してまいります。

(伊達農業普及所)



いちご狩りの説明をする斎藤寛泰氏



参加者で集合写真



いちご狩りを楽しむ参加者



参加した DATEC のメンバー

## けんぽく6次化ミーティング「Hot フルーツ！プロジェクト試食説明会」を開催しました！

当プロジェクトは、Hot フルーツ（県北産果物を使った「温かい商品」や「温めて食べる商品」）を通じた消費拡大を推進する運動です。その一環として、県北管内で手軽に食べることができるよう、「Hot 桃オリジナル料理」を考え、提供いただけるお店を募集することとしました。

そこで、平成30年6月6日（水）に、「けんぽく6次化ミーティング『Hot フルーツ！プロジェクト試食説明会』」を開催し、飲食店関係者、関係機関など約40名を参集し、Hot 桃販売に向けた販売促進スケジュールの説明を行いました。

説明会には、平成30年3月からHot 桃商品の試作を開始された事業者のうち、8事業者が参加し、試作品を披露していただき、意見交換をしながら、商品化に向けブラッシュアップを行いました。開発された試作品には、甘いデザートや饅頭、パン、キッシュ、ピザなどの様々な料理が並び、どれも美味しく、桃の可能性が広がりました。

新たに参加された事業者様にとっても商品開発のヒントを得る機会となったようです。

（企画部）



試作品(ピザ)



開発者試作品説明

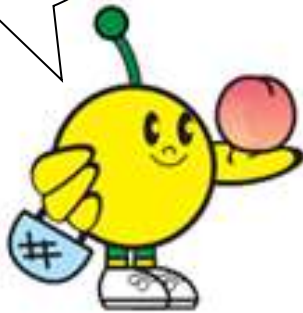
## 第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン開催予告！

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを今年も開催いたします。第1回は、ヨークベニマル福島西店で行います。

当日は、おいしい地元産の桃や夏野菜の試食、素敵なプレゼントを用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

ぜひ御家族揃っておいでください！

ミス・ピーチも  
来るよ！



### ■開催日

平成30年7月28日(土)

### ■場所

ヨークベニマル福島西店

(住所：福島市八島田字琵琶淵29番地)

### ■お問い合わせ先

県北農林事務所企画部

(電話：024-521-2596)

(企画部)



福島県産のおいしい桃



昨年のイベントの様子  
(ミスピーチによる試食配布)

## Hot桃販売促進事業 参加事業者を募集しました！！

「Hotフルーツ！プロジェクト」の一環として、『Hot桃』販売店を募集しました。詳しい参加事業者については、次号以降にお知らせします。

販売期間は、平成30年9月22日（土）～平成30年11月25日（日）です。

今後、販売店をお知らせするためのチラシを作成します楽しみにお待ちください。秋にはぜひ、食べに行ってみてください。



とってもおいしい「ピーチパイ」

**Hotフルーツ！プロジェクト**  
参加事業者募集について

果物王国ふくしまならではの『Hotフルーツを食べる！』を県北の新しい味とし、果物を通じた地域活性化を図るため、本年度「県北産桃」を活用したPR事業を実施します。  
つきましては、「県北産桃」を使ったHot桃オリジナル料理を考え、提供していただけるお店を募集します。

1. 対象事業者様  
福島県県北地域（旧伊達郡、福島市、旧安達郡）で店舗を持っていること。  
福かい「県北産桃」の料理や商品を販売できること。
2. 提供期間  
平成30年9月22日（土）～11月25日（日）
3. 参加募集期間  
平成30年6月28日（木）～〆切（提供メニュー案も同時）
4. 事業概要  
「県産桃」の紹介と桃を使った各店の料理および店舗を紹介するチラシを作成。  
県及び市町村が連携し、広報活動を行います。また、販売店舗にはPRフラッグを配布しますので、各店舗でも連携したPRで盛り上げましょう。
5. スケジュール概要  
6月28日 参加店舗・参加商品確定  
7月中旬 写真撮影・取材  
8月中旬 チラシ・フラッグ完成。販売店へ配布  
9月中旬 プレイベント（駅前チラシ配布、報道投げ込み）  
9月末～11月末 参加店一斉発売
6. 参加費 無料

※H29.11月に桃揚げパイを試食提供したところ、すべての年齢層から大変美味しいという回答が得られました。  
※H30.2月と6月試食説明会では、饅頭、デニッシュ、キッシュ、桃餡まんじゅう、ピザの人气が高かったです。（桃餡の天ぷらまんじゅうもHotで美味しそう。パン類は揚げ時間限定でも）

けんぽく6次化ミーティングでは、桃の加工商品はもちろん、他の果物を使った料理やそれを提供されているお店の情報をお待ちしています。

なお、Hotフルーツに関連したイベント（料理教室、販売イベント、コンテスト等）を開催される場合は、県北農林事務所ホームページでも紹介していきたいので、ぜひ、御一報ください。

URL→<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/hotfruitsproject.html>

### 【御連絡先】

福島県県北農林事務所 企画部地域農林企画課

（担当： 主査 小野知恵）

電話 024-521-2596、FAX 024-521-2850

Eメール [kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp)

（企画部）

## けんぼくの6次化の取組の紹介

### 有限会社 近久工業



**国見町産の果物、野菜を加工して販売しています！**

有限会社近久工業（以下「近久工業」という。）では、国見町産にこだわり、素材の味を生かしたジャムやコンポート、ドライフルーツなどを製造しています。自慢のジャム、「林檎と杏の日」や「桃と杏の日」にはクエン酸を使わず、国見町産の杏を酸化防止として使っています。また、「桃と杏の日」で使われている桃は黄金桃やあかつきなど、産地ならではのラインナップです。桃の種類によってその特徴が現れ、社長こだわりの「桃そのものの味」が楽しめます。

また、他の事業者が販売する加工品の製造も請け負っており、トマトのソースや、残り野菜の浅漬けなども試作されていました。「自分の家で採れた農産物を加工品にしてみたい！」という方は、野菜ソムリエの資格を持つ社長に一度ご相談ください。親身に相談に乗ってくれます。

道の駅国見あつかしの郷などでは同社が企画販売している、入浴剤「もも湯の日」やハンドクリーム「桃とあんずの日」も販売しています。見かけたら、ぜひお買い求めください。

（企画部）

#### ●取扱店舗

道の駅国見あつかしの郷（国見町）、直売所「コスモス」（伊達市梁川町）、（入浴剤「もも湯の日」はコラッセふくしま福島県観光物産館、福島空港売店でも購入できます。）

#### ●事業者データ

有限会社 近久工業

〒969-1701 福島県伊達郡国見町大字石母田字下原 31

☎ 024-585-2329 FAX 024-529-2666



国見町産の桃、林檎、杏をふんだんに使ったジャム



お土産にもおすすめ！

編集・発行 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール [kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp)

